

平成21年第3回燕市議会定例会 一般質問

質 問 日		質 問 者	
9月2日(水)	午前	1	中 島 清 一
	午後	2	齋 藤 紀美江
		3	土 田 昇
		4	田 辺 博
3日(木)	午前	5	本 多 了 一
		6	金 子 正 子
	午後	7	渡 邊 広 宣
		8	塙 豊
		9	須 田 一 郎
		10	大 原 伊 一
4日(金)	午前	11	山 崎 雅 男
		12	白 倉 賢 一
	午後	13	中 條 征 男
		14	小 林 速 夫
		15	大 岩 勉
		16	齋 藤 信 行
7日(月)	午前	17	タナカ・キン
		18	阿 部 健 二
	午後	19	田 村 善 典
		20	長 井 由喜雄
		21	中 島 義 和

平成21年第3回燕市議会定例会一般質問表

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
1	中 島 清 一	<p>1. 環境問題について</p> <p>(1) 公立小中学校の太陽光発電やエコ改修について</p> <p>①経済産業省や文部科学省が中心となり、公立小中学校の太陽光発電やエコ改修の導入促進を図っている。去る6月19日に仙台市において説明会が開催されたが、今後における本市の対応について伺う。</p> <p>2. 福祉問題について</p> <p>(1) 特別養護老人ホームの入所待機者の実態と対策について</p> <p>①高齢社会の進展に伴い老老介護や独居世帯が増加しており、国が推し進めてきた在宅ケア重視路線にほころびが生じてきた。特別養護老人ホームの入居待機者が増えている中であって、本市における待機者の人数や今後の対応についてどのように考えるか。</p> <p>3. 教育問題について</p> <p>(1) いじめ防止などに活用される心理検査「Q-U」について</p> <p>①クラスの状況を把握する手法として、「Q-U」と呼ばれる心理検査を活用する学校が県内で増えている。いじめや学級崩壊の防止に役立つとされているが、本市として取り組む考えは。また、本市におけるいじめの実態と対策について伺う。</p>
2	齋 藤 紀 美 江	<p>1. 市役所の仕事のあり方について</p> <p>(1) 申請書等の受理や納税後のチェック体制について</p> <p>①各部署にさまざまな申請書提出の必要なものがあるが、受理後のチェック体制に不備があるような事例が見受けられる。チェック体制はどうなっているのか。</p> <p>②市民からの苦情はどうか。苦情を受けたあとその見直し等を行っているのか。</p> <p>③納税等の督促状の発送は早すぎるのではないか。せっかく納付しているのに督促状が来ては市民感情を逆なですることになるし、役所の仕事そのものに信頼性を失うことになる。</p> <p>2. 父子・母子家庭支援について</p> <p>(1) 6月議会に引き続いて父子・母子家庭支援について</p> <p>父子・母子家庭支援について6月議会質問後、調査を含め取り組まれたことはあったのかどうか。こどもの貧困の弊害はさまざまに言われている。父子・母子家庭支援は子どもに対する支援であり、教育立市宣言ということは学ぶ環境だけにとどまらず、生活環境に対しても部局をまたいで全市的に支援すべきものと思うがどうか。</p> <p>①ヘルパー派遣については検討されたのか。取り組む体制についてはどうか。</p> <p>②父子家庭への経済的支援について、母子家庭並みに児童扶養手当を支給した場合、どのくらいの金額になるのか。</p> <p>③魚沼市の取り組みについてどう思うか。</p> <p>④生活保護に関する相談はどうか。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
2	齋藤紀美江	<p>3. 教育立市宣言への取り組みについて</p> <p>(1) 昨年9月に教育立市を宣言し1年になろうとしている。今後の取り組みについて、人づくりは百年の大計と言われる。すぐに結果は見えないと思うが見えてきたものがあるのかどうか。学習面だけではなく生活全般の支援が必要に思う。</p> <p>①以前、全国学力調査での生活面の調査の結果を述べさせていただいた。福岡県でも同様な調査をされているが、そのことに対してどう思われたか。燕市でも調査をする考えはあるのか。</p> <p>②日本小児科医会では、コミュニケーション能力の低下や運動不足を招くということで、すべてのメディアに接触する総時間の目安を1日2時間まで、テレビゲームは30分まで子ども部屋にパソコンやテレビを置かないよう提唱した。全国の教育現場や県内の自治体でも取り組みが進んでいるようだがどう考えるか。</p> <p>③児童館等にパソコンが置かれてテレビゲームができるようになってきているが、撤去すべきではないか。体を使ったり、本を読んだり、ごっこ遊びをしたりする環境こそ整えるべきではないか。</p> <p>④園庭や校庭中庭等を自然豊かなものに整備することも考える必要があるのではないか。全国で最初に新潟県で始められた学校の森作り事業は、日本はもとより海外でも評価され取り組まれている。都会化が進み自然環境が減少している状況で、子どもたちが1日の大半を過ごす生活の場としての園庭や校庭を緑豊かにしていくことも子どもの育ちを豊かにするのではないか。</p>
3	土田昇	<p>1. 農業問題について</p> <p>(1) 農産物輸入自由化を押し進めてきた現在の農政、市場原理で大手流通資本の買いたたきを野放しにする政策を押し進めた結果、コメについては生産費さえ賄うことができない状況にある中で、アメリカとの間に、農産物の輸入を自由化する協定を結ぶ「日米F T A自由貿易協定」が大問題になっていますが、市長の見解について伺います。</p> <p>(2) 今年の超早場米の宮崎産コシヒカリの生産者価格は大暴落で、昨年産より1,600円も安い12,400円(60kg)であります。現在の燕市については今後農業を続けていられないと思うので、コメの最低価格保障や所得補償を政府に対して強く求めていくべきと思うが市長の見解について伺う。</p> <p>2. 生ゴミのリサイクルについて</p> <p>(1) これまで焼却灰を最終処分場で埋め立てで処分してきたが、今後は、人工砂とかエコセメントに有効利用する資源循環型社会について考える時期にきていると思うが市長の見解について伺う。</p> <p>3. 国道116号線(バイパス)の進捗状況について</p> <p>(1) 地元説明会の予定について、いつごろどのように計画されているのか伺う。</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
4	田 辺 博	<p>1. 特色のある学校運営について</p> <p>(1) 学校、家庭、地域との連携について</p> <p>(2) 教育委員会の活性化について</p> <p>(3) P T A活動の活性化について</p> <p>(4) 旧燕工業高校の跡地利用について</p> <p>2. 新市建設計画掲載事業について</p> <p>(1) 合併時の市民との約束事業を約 108 億円削減した理由、また、地域住民の反応は。</p>
5	本 多 了 一	<p>1. 下請零細業者に対してどう市政の光を当てるのか</p> <p>(1) 4 人未満のいわゆる家内工業者の実態を市としてどうつかむか。</p> <p>(2) 国民健康保険税が高くて納められない、零細業者にも休業補償制度がほしいなどの切実な声をどう受け止めるか。</p> <p>(3) 小林市長は下請零細業者をどのように見、これらの人たちに対する思いやりがあるのかどうか。</p> <p>(4) 下請業者団体の代表との懇談会をなぜやらないのか。</p> <p>2. 保護観察協会会費の使途の明細について</p> <p>(1) 会員募集の封筒の裏に大ざっぱな会費の使途が印刷されているが、会員にもっと具体的に知らせる義務があるのでないか。</p> <p>(2) 内訳の中で社会浄化活動費があるが、具体的にどんな活動か。</p> <p>(3) その他保護観察を受けている者への更生援助金、研修、研究等の費用で、多額の金が使われているのはなぜか。</p> <p>(4) 関係団体との連絡調整費、協力団体への助成金、人件費等運動諸経費などの明細も市として明らかにしてもらいたい。</p> <p>3. 生活保護について</p> <p>(1) 生活保護法は「憲法第 25 条に規定する理念に基づき、国民に最低限度の生活を保障し、その自立を助長するとして、この目的としてこの要件を満たす限り、無差別平等に利用できる」と法 2 条に規定されているが、現実はその精神で事務が執行されているのか、何世帯が生活保護を受けておられるか。</p> <p>(2) 生命保険は解約しなければならないのか。</p> <p>(3) 生活保護を受けようとする人の自動車の保有をなぜ認めないのか。</p> <p>(4) 生活保護の母子加算が全廃されたが、燕市では何世帯の影響が出ているのか。</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
6	金子正子	<p>1. 学校給食の充実</p> <p>(1) 平成21年度から学校教育課に栄養士が配置され、燕市全体の学校給食の安全安心を第一とした取り組みは、どのようなコーディネート役が果たされているのか。(食の安全安心・食物アレルギーの対応・食育の推進・食材の地産地消・味・配送時間等)</p> <p>(2) 食生活のバランスや、生活改善を含めた健康管理の意識を高めていくために、児童、生徒の春の健診時に合わせて、血液検査を加えてはどうか。</p> <p>(3) 市の意思決定過程の透明性を確保することを目的としているパブリックコメントや、燕市教育ビジョン検討委員会からの答申、および、教育委員会の基本的な考え方を含めた総合的な観点から、市長は最高責任者の立場から燕市の学校給食の調理体制の基本的な考え方、方向性をどのように考えているのか。</p> <p>2. 子どもの読書環境等</p> <p>(1) 子どもの読書環境・学校図書館の図書の実態として、読書の果たす役割と学校図書館の在り方の検討や、子どもの読書活動の推進に関する施策の策定はどのように考えているのか。</p> <p>(2) 学校図書館をサポートする体制づくりや、年間指導計画に利用を位置付けた計画はどのように考えているのか。</p> <p>(3) 子どもの発達段階に沿って、家庭での親の果たす役割を再度考える「家庭学習の手引き」の保存版を策定されてはどうか。</p> <p>3. 若者の自立支援</p> <p>(1) 若者の社会的自立を、個別、継続的な支援を実施していくための地域若者サポートステーションを、燕市として週一回程度相談員を配置する相談業務等への実施はどのように検討されているのか。</p> <p>(2) 学校の中退者や進路不明者なども地域で包括的に支援できるようになる「子ども・若者育成支援推進法」が成立し、「若者の自立は社会の責任」と認知されたことを受け、燕市としての責務はどのように考えているか。</p>
7	渡邊広宣	<p>1. 行政手続きの簡素化を</p> <p>(1) 行政サービスを受けようとするとき、行政窓口に出向いて手続き申請し、年度ごとに現況届、更新手続きなど、その都度窓口で確認手続きなどを行う。</p> <p>行政サービス、特に福祉サービスを受ける市民は高齢者、体が不自由な人が中心であり、その上高齢者世帯・一人暮らしの高齢者が多い。また、案内文書などが行政用語で難解でもある。</p> <p>少なくとも毎年の確認については、郵送を含めた中でもっと簡素化を図れないか。それに合わせて新庁舎完成までに、支所機能、整備すべき案件を計画すべきでは。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
7	渡 邊 広 宣	<p>2. 行政サービスは所得に応じた負担を</p> <p>(1) 近年、所得制限を設けない、またはそれを緩和する傾向にある。少子高齢社会に合わせてそれが顕著になってそれなりに評価できるが、財政面で厳しさを増している今日、所得に応じた負担をお願いすべきでは、伺う。</p> <p>3. 中学校の部活動について</p> <p>(1) 学校（生徒数）によって部の数に大きな違いがあり、生徒の選択の自由に制限がある。子どもたちが越境入学しなくてもいい部活動が出来るようにすべきでは。（具体的には、中学校単位の部活動、大会参加から複数校での参加、地域スポーツクラブでの参加など、上部に働き掛けては。）</p>
8	埜 豊	<p>1. 財政問題について</p> <p>(1) 21年度交付税の決定額と市税収納状況について。</p> <p>(2) 国の景気対策により、379億800万円までに膨れ上がった21年度予算が、22年度予算編成に及ぼす影響について。</p> <p>(3) 激動の20年度下期から現在までの推移を考えると、22年度以降の財政をどのように見通しているのか。</p> <p>2. 行財政改革について</p> <p>(1) 合併は、将来に向けての財政基盤を確立するはずであったが、担当部局任せの行革案の立案の遅さ、市長のリーダーシップが各種建設計画ほどに、発揮されない理由は。</p> <p>(2) 人件費の削減と業務見直しについて。</p> <p>3. 燕市産業の現状と行方</p> <p>(1) 現状分析はいかに。</p> <p>(2) 市政全体に及ぼす影響を関係各課との連携していく道筋は確立されているのか。</p>
9	須 田 一 郎	<p>1. 防災無線について</p> <p>防災無線（チャイム）を有効に利用しては。</p> <p>2. まちづくり協議会について</p> <p>まちづくり協議会の活動を、市民の対話の中でどのように広げていく考えかお聞かせ願います。</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
10	大原 伊一	<p>1. 小林市長3年間の政治姿勢についてと、小林市政の3年間の評価について</p> <p>(1) 新市建設計画について</p> <p>①「あれもこれも」から「あれかこれか」になったのか。</p> <p>②2年連続の実質単年度収支が5億円以上の赤字となったがその評価について。</p> <p>③合併後3年経過したが、合併時の約束であった制度調整は、進んだのか。</p> <p>(2) 行財政改革の詳細が見えてこないが施設の統廃合など今後の見通しについて</p> <p>①新庁舎は、行政機能に徹し無駄を廃したスリムな庁舎であるべきと思う。</p> <p>②新庁舎建設後の旧3庁舎について。</p> <p>③新庁舎エリアを行政ゾーンとして、将来、施設の集約化をする必要があると考えるがどのように考えているのか。</p> <p>2. 長雨による農産物への影響と対策について</p> <p>(1) 梅雨明けが遅れ、農作物への影響がじわりと出てきているが、秋野菜の作付けの状況、並びに水稻の作況状況と今後の対策について</p>
11	山崎 雅男	<p>1. 燕市と西蒲原土地改良区との関わりについて</p> <p>(1) 西蒲原土地改良区では、平成23年4月1日を目標に現在の13支所を4地区事務所に統合する方向で鋭意協議が進められ、燕・吉田・分水・弥彦の南地区事務所の所在地について吉田地域とし行政施設を貸借することと決定。</p> <p>西蒲原土地改良区統合は、地域農業の効率的発展を築くための基礎となるものであり、盤石な運営を期待するとともに燕市との関わりについて伺う。</p> <p>①燕市として土地改良区に対しての認識を伺う。</p> <p>②燕市として西蒲原土地改良区統合、南地区支所に対しての捉え方と関わりについて伺う。</p> <p>③新庁舎建設移転後の吉田庁舎分館（現水道局）の移設確定した場合、土地改良南地区事務所としての貸借についての要望書、並びに吉田産業会館内追加貸借についての見解を伺う。</p> <p>④燕市と西蒲原土地改良区との一体感の醸成を図るべく中で、今後の地区別事業の推進、取り組み状況はどうか伺う。</p> <p>2. 教育行政について</p> <p>(1) 旧耐震基準の昭和56年以前に建築された学校数、新耐震基準の昭和57年以降に建築された学校数、および、耐震診断結果と耐震補強実施状況を伺う。</p> <p>(2) 小中学校が各地域の避難所指定されているケースが多いが、地域で安全な避難所まで必要とする所要時間、距離、掌握人員を考えて避難所指定をされていると思うが、どのような観点でそのようなことを掌握されて避難所指定を図られているのか。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
1 1	山 崎 雅 男	<p>3. 学校教育について</p> <p>(1) 教育委員会の帰国・外国人の児童・生徒への受け入れ取り組みはどんなか。</p> <p>①現在の義務教育における燕市内小中学校で、該当する外国人児童・生徒と母国の内訳は。</p> <p>②帰国・外国人の児童・生徒の日本語理解度の把握について。</p> <p>③帰国・外国人の児童・生徒の転入後の各小中学校の取り組みについて</p> <p>④教育委員会は帰国・外国人の児童・生徒をどのように受け入れ、どのような教育条件の整備に努めているのか。</p> <p>(2) ①中学進学後の不登校「中一ギャップ」の現状はどうか。</p> <p>②燕各小中学生の不登校の実態と対応、指導はどうか。</p>
1 2	白 倉 賢 一	<p>1. 職員の労務管理について</p> <p>(1) 職員の労務管理及び超過勤務の実態はどのような状況なのか。</p> <p>(2) 各部署職員の適正配置等は毎年度十分研究検討がなされているのか。</p> <p>2. 新型インフルエンザ集団感染者対策について</p> <p>(1) 先般、国立感染研究所から公表された、集団感染源の保育所、幼稚園、小・中学校などで、この夏休み明けに集団感染が大流行に拡大することが予想され、厚生労働省はその対策に頭を痛めているが、市はこの大流行発生した場合の予防対策を含めて、どのような感染症等に対する予防措置を講じるのか伺う。</p> <p>3. 介護保険対策について</p> <p>(1) 介護保険改定毎に毎回値上げされる介護保険料の値上げ対策の対応について。</p> <p>(2) 介護保険料変動抑制基金条例の制定を考えてみてはどうか。</p> <p>(3) 市民の生命・健康をどのように守っていくのか伺う。</p> <p>4. 消費者庁設置は我々市民の暮らしを守れるのか</p> <p>(1) 国は食品偽装問題等、先般発生した事故米不正転売はじめ、いろいろの問題が多く発生している。我々生活者の命が国の消費者庁の設置によって本当に守られるのか、国の消費者庁設置法案で私達市民の生命が保障されるでしょうか。</p> <p>(2) 本市としても、自分達の生活は自分達で守るという立場で、市でも「消費生活者条例」を制定してはどうか伺う。</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
13	中 條 征 男	<p>1. 災害対策について</p> <p>(1) 行政は「いつ起きるか分からない」災害時に住民の安全、安心のための情報を提供する責務があると思う。そのためには、地震の備えに地震防災マップの作成を急ぐべきと思うが、どのように進める方針であるのか。</p> <p>また、本市は昨年、燕市洪水、土砂災害ハザードマップを作成したが、大雨による災害情報と避難方法に関するハザードマップであり、地震マップは住宅の耐震化などを促す目的と、避難施設の確認等に欠かすことができない資料で、地域の防災力に役立つと思うがどのように進めていくのか。</p> <p>2. 遊具体策について</p> <p>(1) 遊園地での遊具類「ブランコ、すべり台」等の老朽化した遊具を、市は撤去を行っているが、新しい遊具に取り替える計画があるのかどうか伺う。</p>
14	小 林 速 夫	<p>1. 公会計改革の意義と併行して進める行財政改革について</p> <p>(1) 公会計と企業会計の違いについての認識は。</p> <p>(2) 公会計に発生主義を求める動きが高まって現在に至った理由は。(夕張問題はきっかけの一つにすぎない)</p> <p>(3) 改革をどう進めるのか。</p> <p>①コスト意識とは。どう高めるのか。</p> <p>②各公有財産の管理(価値の把握)</p> <p>③決算重視への転換と情報開示</p> <p>2. 産業振興施策について</p> <p>(1) 市外企業誘致はどのような企業をターゲットにしてきたか(設計組立を持つ企業、大手へ部品を提供する企業 etc)。今後も続けるのか。</p> <p>(2) これからは、それぞれの地域間同志で得意分野を生かした取引をしたり、新しい産業を起こす「地方広域経済圏」を目指した施策を展開すべきと考える。市の施策にかかげる高い附加価値をどのマーケットでの実現を目指すのか。</p>
15	大 岩 勉	<p>1. 国の補正予算による経済危機対策について</p> <p>(1) 新潟市は総額約65億3300万円規模の新たな経済対策を発表しました。道路の維持・整備事業や校内LANやパソコン配備など、学校の情報通信環境の整備事業などを前倒しで行うとのことですが。</p> <p>燕市での経済危機対策に対する取り組みと、「国の大型補正はハードルが低かった」と思われるが、活用されたのかお聞きする。</p> <p>(2) 県では、プラグインハイブリッド車の普及促進として、急速充電器の整備を促し、公用車での率先導入や配備を当面の大きな取り組みとされているが、燕市での取り組みと考えをお聞きする。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
15	大 岩 勉	<p>2. 学校教育の現状と生徒の減少を考えた今後の課題について</p> <p>(1) 不登校の児童生徒数は、前年度と比べると減少しているのか。また、増加しているのか。文部科学省の学校基本調査 08 年度では、年間 30 日以上欠席した「不登校」の小中学生は、3 年ぶりに減少と発表されたが、新潟県教育委員会では、07 年度より増加と発表されました。燕市の現状をお聞きする。</p> <p>(2) 生徒数の減少に歯止めがかからない状況であるが、燕市の出生数は落ち込んでいるのか。県がまとめた人口動態統計では、出生数が 1 万 8388 人で、前年比 336 人減と過去最少に落ち込んでいます。燕の現状をお聞きする。</p> <p>(3) 生徒数の減少する中学校のクラブ活動は、学区小学校との連携を考えていくべきと考えるが、担当の教員にばかりに負担をかけるのではなく、外部指導者の協力を取り入れていくべきでないか。</p> <p>3. 新庁舎建設用地利用に関する請願について</p> <p>(1) 一部の市民と議員が、新庁舎の一時凍結を求める運動を「率先垂範」のごとく行っている方もいますが、燕市自治会連合会が提出された、新庁舎建設に関する住民自治の拠点としての新庁舎建設の方向性をお聞きする。</p>
16	齋 藤 信 行	<p>1. 小中学校、幼稚園、保育園の適正配置について</p> <p>(1) 先般、議会で大阪府池田市へ先進地視察に行った。人口は燕市よりやや多いのに、小・中学校の数が少ない。そのことにより、限られた財源の中、教職員のより適正な配置や施設・設備の整備を進めることが可能となり、児童・生徒の教育環境の保全につながるということが言える。これに対して現在、燕市教育委員会では教育ビジョン検討委員会で学校の適正配置について検討しているが、その進捗状況はどのようになっているのか。</p> <p>また、保育園・幼稚園適正配置実施計画庁内検討委員会を設置して、保育園や幼稚園の適正配置についても検討しているが、少子社会となった今、燕市立の保育園・幼稚園の 1 園当り保育園児数は 95 人で、保育園・幼稚園別で見るときには保育園は 1 園当り 123 人、幼稚園 1 園当り 46 人となっており、定員割れしている幼稚園や保育園がある。保育園や幼稚園の統廃合を進めるようにしてほしいが、考えを伺いたい。</p> <p>2. 教育予算について</p> <p>(1) 本市では昨年 9 月に教育立市宣言を行っているが、その中で人をまちづくりの原点として、豊かな人間性と創造性を備え、郷土に愛着を持った人づくりを進め、このまちで子どもを育てたい、教育に携わりたいと人々が集う燕市を目指すとしている。平成 20 年度から教育立市宣言推進事業として取り組んでいるところであるが、教育は費用対効果として投入したお金に対してその効果がすぐに表れないという部分が多いが、それなりの成果を出すためには、教育立市宣言推進事業に相当額の予算を配当すべきと考えるがいかがか。</p> <p>3. 市の教員研修について</p> <p>(1) 池田市では教員の海外研修（英語）を行っているが、本市でもそういったことなどは考えているか。また、本市では教員に市独自の研修などあるのか。</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
17	タナカ・キン	<p>1. 燕市新庁舎建設設計者選定競技について</p> <p>(1) 長い間の協議によって新庁舎は地上4階と決定し、市民に対しても「燕市新庁舎建設お知らせ版」で何度も地上4階だと報告されてきた。しかし、選定競技で提案されたものの中には、地上4階地下1階・地上2階・地上3階・地上5階など、地上4階でない提案をした者が15者中6者もあった。選定競技実施要領を確認したら、建築条件で「階数は地上4階程度とします」となっていたが、なぜ、こんなあいまいな条件にしたのか。</p> <p>(2) 基本計画で庁舎の延床面積は約10,000平方メートル、駐車場は約16,000平方メートル、公用車庫は約1,600平方メートルであり、また、議会関係面積は900平方メートルとなっている。では、ここでの程度というのはプラス・マイナス何%くらいの増減が許容範囲だったのか。</p> <p>(3) 第2次審査に進んだ5点のうち、登録番号23は提案の図の中に「大龍山を望む開放的な屋外テラス」という説明があった。これは、7月20日の第2次審査で選定委員から問題点として指摘されていた。大龍山は大分県にある山ということだが、であれば他の市のために提案されたものを使い回したということになる。大分県と雪の降る燕市では自然環境がまるで違う。一流の設計事務所と聞いているが道義的にはどうなのだろうか。この提案が2次審査に進み、評価点数が全体の3位になっている。このことを割り引いても提案内容が良かったということなのか。</p> <p>(4) 広報に発表された、最優秀の樹形設計の提案を見た市民の多くから、豪華すぎるという声が聞こえてきます。確かに、ふれあいのえん側・協働のえん側など広すぎて、とてもスリムな庁舎とは言いがたい気がします。この提案、市民機能面積が1,206平方メートルとありますが、市としては、この市民機能面積をどの程度、必要と考えていたのか。</p> <p>(5) 審査する常識として、設計提案が多ければ多いほど、内容についての一覧表を作り、それをもとに比較しながら審査を行うものです。しかし、一覧表を審査員に渡したという話を聞かない。事務局は審査がスムーズに行われるのをサポートするのが仕事であります。なぜ、一覧表を作成しなかったのか。</p> <p>(6) 選考にあたっては、学識経験者（県内の大学教授等）4名、市民代表7名、議会代表7名、行政代表2名（副市長）の計20名で行われましたが、審査員の採点の持ち点が全員同じだと聞いて驚きました。専門家も、そうでない人も同じだというのはどうしてだったのか。また、他に例があったら教えてください。</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
18	阿 部 健 二	<p>1. 新庁舎建設の一時凍結を求める市民の声からの質問</p> <p>(1) 広報つばめで新庁舎建設の最終選定案を見せられたがゆえに新庁舎建設の一時凍結を求める署名をしたくなったという電話があったことから、市民・行政・議員のふれあいの縁側などという、お為ごかしの市役所に違和を感じ、税金のムダづかいを感じる人たちがいることを知るのだが、市はそのことを認識しているか。</p> <p>(2) 新庁舎の位置は、いつ、どのようにして決められたのかを問われてふと思ったのが、新庁舎建設基本計画が議会の新庁舎建設等検討特別委員会で承認される前に新庁舎建設用地の買収をしたことで、そこに問題はないのか。</p> <p>(3) 田ん圃が、反あたり 300 万円でも売れるかどうかのご時世に、反あたり 1,100 万円もの高値で取得した新庁舎建設用地の買収価格への疑問の声は依然として多く、中には、この買収は背任行為に当たらないのかという声さえあるが。</p> <p>(4) 最近、今回の燕・吉田・分水の合併をご破算にしたいという議員がいるやに聞くが、そんな中での新庁舎建設は、税金のムダづかい以外の何ものでもないと思うのだが。</p> <p>(5) 地場産業の多くの企業が仕事を減らし税収が見込めない中であって新庁舎建設に 16 億円もの借金をすることにためらわない市長には、例えば、今の 600 人もの特養待ちの状態を解消する気がないと見ていいのか。</p>
19	田 村 善 典	<p>1. 県央基幹病院の整備について</p> <p>(1) 泉田知事 2 期目のマニフェスト・暮らし夢おこしの中で、県央基幹病院整備を明文化され、県央 4 首長が救命救急センター併設の 600 床規模の中核病院設置要望が出され、住民の合意を前提に、市町村や病院、医師会のほか、住民を含む検討の場が設置されたと認識しているが、</p> <p>①その後、検討会でどのような話し合いが持たれているのか、詳細にご説明願いたい。</p> <p>②近年、県立吉田病院では 06 年 4 月、実際の稼働病床数を 362 床から 303 床に削減され、さらに 07 年 4 月に 247 床となった。現在の病床数はいくつか。この現実をどのように考えておられるか。</p> <p>③平成 20 年 9 月議会において、「県立吉田病院と燕労災病院を整理統合すれば、要望書のような病床数 600 規模の病院となる。」との質問に、市長は『私としては、吉田病院と労災病院でクリアさせていただければありがたい。』と答弁されていますが、燕市議会以外の公的な場でこの話をされたことはあるのか。燕市の意志とは、市長の発言である。</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
20	長井由喜雄	<p>1. 子育て支援について</p> <p>(1) 病児保育の検討を</p> <p>①市はなぜ「病児保育」ではなく「病後児保育」を検討するとしているのか。病児に関連した親の要望としては病後児ではなく「病児保育」が開始されることを望んでいるのではないのか。「病後児保育を検討していく」という方針を転換し、「病児保育」を目標として環境作りをしていくべきと考えるがいかがか。</p> <p>(2) 子どもの医療費助成について</p> <p>①市長は、望ましい子どもの医療費助成についてどう考えるか。燕市としては不公平感を広げる「子どもが3人以上いる世帯について小学校3年生まで通院助成」としている現状から、まずは公平な基準となる「小学校3年生まで全員」を対象とする制度とし、段階的に小学校卒業まで引き上げていくべきではないか。</p> <p>②医療費助成制度についてはまずは国がその無料化を進めるべき制度であると考えが、国が助成年齢を拡大していくことについて、市長は地方自治体の長として具体的にどのような手立てと行動を起こしていくのか。</p> <p>2. 平和祈念式典への市民派遣について</p> <p>(1) 広島で行われる平和祈念式典に、来年度から一般市民も参加できるように派遣事業を拡大することを提案する。</p> <p>(2) 中学生派遣が昨年から実施されている。各学校での派遣生徒の選び方と派遣後の報告についてはどのようにされているのか。市民派遣の実施と共に派遣中学生の報告会についても市も対象として行い、非核平和の大切さについて、小中学生や市民に対して理解の拡大と平和意識拡大の取り組みを広げていくことをさらにどう具体的に行っていくのか。</p>
21	中島義和	<p>1. 新庁舎建設と庁舎周辺の土地利用について</p> <p>(1) 新庁舎基本設計業者も確定した。基本設計業者イコール本設計業者である。この28日にも議会に説明が行われる。また10月から月1回のペースで計4回ワークショップが開催され、参加者は公募20名、各種団体20名計40名が予定されている。市民が理解、納得していただける立派な作品作りに取り組んでいただきたい。</p> <p>①プロポーザル方式とコンペ方式は各々メリット、デメリットがあるので、両方式を融合した方法を基本とし、設計段階でも要望を入れられると記されているが、それによる設計料に差異が出てこないか。</p> <p>(2) 燕市自治会連合会、市政懇談会にて、新庁舎周辺に公共施設配置を、自治会長名で庁舎同一敷地内に公共施設を配置し、駐車場の有効活用をと9月議会に請願書が提出されている。新庁舎完成後の既存施設との利活用とも密接に関連してこようと思われるがいかがか。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
21	中 島 義 和	<p>(3) 新庁舎予定地 36,360 平方メートル、燕警察署建設予定地 6,193 平方メートルはすでに売買契約済、同一耕地内に約 18,000 平方メートルの耕地が存在している。 財政の厳しい昨今ではあるが、地権者の協力が得られるならば、先を考慮して残地購入の検討を。</p> <p>(4) 都市計画マスタープラン策定作業が進められている。平成 21 年度末、発表の予定になっておるが、国道バイパスの法線開示の遅れによる影響はないか。</p> <p>2. せん定枝リサイクル施設について</p> <p>(1) リサイクル施設 1 市 2 町の合併により、現有施設では処理が難しいとのことで、ライン増設の予算計上がなされておる。</p> <p>① 2004 年に国の電源地域産業再配置促進事業制度を取り入れ、建設資金 6,528 万円の 86% の 5,617 万円の助成で開設した。増設資金の内訳は。</p> <p>② せん定枝受け入れ数量は。また、堆肥の〔せん定君〕の市民への配付量は。</p>